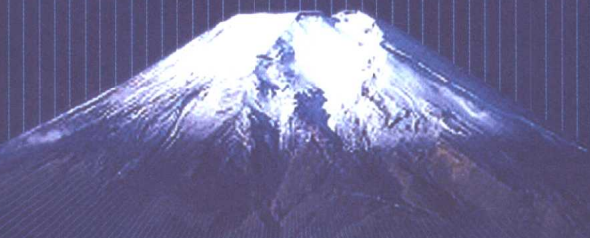


日本 古典文学 大辞典

北京日本学研究中心
文学研究室 著
人民文学出版社



日本
古典文学
大辞典

北京日本学研究中心
文学研究室 著

人民文学出版社

(京)新登字 002 号

此书由日本国际交流基金资助出版

图书在版编目(CIP)数据

日本古典文学大辞典/北京日本学研究中心文学
研究室著. - 北京:人民文学出版社,2005.5
ISBN 7-02-004954-0

I. 日… II. 北… III. 古典文学-日本-词典
IV. I313.062-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 002193 号

责任编辑:陈 旻 周绚奎
装帧设计:翁 涌
责任印制:李 博

日本古典文学大辞典

Riben Gudian Wenxue Dacidian

北京日本学研究中心文学研究室 著

人民文学出版社出版

<http://www.rw-cn.com>

北京市朝内大街 166 号 邮编:100705

北京瑞古冠中印刷厂印刷 新华书店经销

字数 1000 千字 开本 850×1168 毫米 1/32 印张 37.375 插页 1
2005 年 3 月北京第 1 版 2005 年 3 月第 1 次印刷

印数 1-2000

ISBN 7-02-004954-0

定价 98.00 元

编委及撰稿人名单

执行主编：张龙妹

编 委：王 华 蒋义乔 赵力伟

尤海燕 何蔚泓 林 晓

顾 问：[日]神野藤昭夫 [日]渡边秀夫

[日]小峰和明

撰 稿 人：（排名先后以姓氏笔画为序）

王东辉 王 华 王益鸣 王 雪

王 维 王 薇 尤海燕 刘德润

佟 君 何蔚泓 李 欢 李宇玲

李铭敬 汪三国 吴志虹 吴芳龄

陈 燕 范闽仙 林 晓 邱 岭

杨永良 於国瑛 张龙妹 周以量

施 旻 修翠华 赵力伟 徐恭生

蒋义乔 蒋 伟 黄少光 [日]绵引香织

[日]藤原雅子 [韩]赵恩馥

前 言

为了促进日本古典文学在我国的研究和教学,向本专业并国内一般人文学研究者提供有关日本古典文学的较为全面确切的基础知识和学术信息,北京日本学研究中心文学研究室自一九九八年起计划编撰一部《日本古典文学大辞典》(以下简称《大辞典》)。项目以编委会主持和国内外学术协作相结合的形式,经过对辞典体例、选目标准、撰写要领及范本等的反复研究和周密准备,从一九九九年九月开始分头撰写,至二〇〇三年七月完成编辑工作,历时五年有余。其间得到了各方面的大力支持与援助,其中包括日本国际交流基金会为期三年的项目资助及二〇〇〇年度教育部青年教师项目资助。

《大辞典》的编撰方针是:立足本国学界,强调个案研究。所谓立足本国学界,就是一要如前所述为国内的本专业及一般人文学界服务,二要体现中国研究者的视角。为此,不仅在作品的分析上点出我国文学的影响关系,还在整体的条目选择到具体的撰述中尽量体现中日比较研究的特色,使得读者通过阅读本辞典,既可以了解日本古典文学,还可以以日本古典文学为参照或反照,重新或加深理解本国的文学作品。强调个案研究,就是要求条目的撰述须以撰稿人自身的研究为基础。为此,选定的撰稿人都是我国国内(包括仍在日本深造的)从事日本古典文学研究方面的中坚和新兴力量,他们都受过良好的专业训练,学有专长。所以,读者或可以发现,各个条目的内容不局限于知识的介绍,还体现了撰稿者个人最新的研究成果或见解。只有少数条目(共33条)在国内无法找到撰稿者,由几位日方合作者完成。

《大辞典》的内容共分四部分:(1)人物与作品解题、(2)文学概念、(3)基础知识、(4)附录。第一部分的“人物与作品解题”把各个时代的人物(作家、歌人及对文学有一定影响的历史人物)和作品分为S、A、B三类(S类为当前的研究热点,A类为仅次于研究热点的重要作品和人物,B类为文学史常识)。在分类解题的同时,通过对当今国内外的研究动向及个案研究的介绍,突出中日比较文学研究的视角,尤其要求S类条目要以撰述者个人研究为基础,提出自己独到的见解。第二部分的“文学概念”中包括了“文学体裁”、“集体性文学活动”、“术语解释”等内容,通过举例说明,使初学者也能够具体领会。在此基础上,介绍当今的研究动向,提供研究视角。第三部分的“基础知识”包括“自然环境”、“生活空间”、“典章制度”、“天文占卜”、“宗教信仰”、“外来文化”,力求较为完整地介绍日本的古代文化。如“典章制度”之下又分立「制度」、「年中行事」、「公事」、「出産」、「成人」、「結婚」、「算賀」、「葬送」八个门类,其中的「結婚」一类中就立了「添臥」、「通ひ婚」、「後朝」、「露顯」、「三口夜の餅」五个条目,翻阅这五个条目,就可以对当时的婚姻形态有个较为全面的了解。此外,还指出了这些文化背景在作品中的具体体现,为研究提供参考。第四部分的“附录”为(1)后宫与官职制度概要、(2)中日对照文学史年表。后者“年表”是为了让读者对中日古典文学有个综合而直观的认识,而“后宫与官职制度概要”本应列入上述“典章制度”中,考虑到查阅的方便,也为了便于通读,一并置于卷后。

《大辞典》自确立条目起,得到了日本迹见学园女子大学教授神野藤昭夫先生、信州大学教授渡边秀夫先生、立教大学教授小峰和明先生的大力协助和积极支援,他们在北京日本学研究中心任教期间,参加了编委会的具体讨论,回国后,又帮助提供各类参考资料、介绍日方撰稿者。他们的支持为编委会的工作增加了动力。更应该感谢的是全体撰稿者,他们是在繁忙的

学习、工作之余完成编委会的撰稿请求的,他们中好几位当时还正在撰写博士论文。在此谨代表编委会对他们表示衷心的感谢。

本辞典中引用和歌的翻译,很大一部分是由河南师范大学刘德润教授承担的。他的中国古典文学的造诣,为本辞典增色不少,特此深表谢意。另外,还要特别感谢工学博士杨中平先生,他在繁忙的工作之余义务为本《大辞典》排序,帮助编者解决了一个又一个难题。

由于编委的水平有限,撰稿者所学也各有千秋,不尽如人意之处必定不少,衷心希望得到各方面的批评、指正。

本《大辞典》的出版亦得到了日本国际交流基金会的资助,人民文学出版社古典部的周绚隆博士在整个出版过程中给予了大力支持和协助,陈旻先生细致的编辑,在此一并致以谢意。

张龙妹 2004年6月

凡 例

一、立项范围

本辞典所立条目共一千一百余条。所涉时代以近世为下限,也有个别明治时期的条目。所收具体内容如下:

1. 作品:物语、历史物语、拟古物语、御伽草子、假名草子、浮世草子、读本、洒落本、人情本、谈义本、滑稽本、噺本、赤本、黑本青本、黄表纸、合卷、绘本、日记、纪行、随笔、神话、说话、军记、实录、和歌、汉诗文、连歌、俳谐、杂俳、川柳、狂歌、狂诗文、歌谣、能、谣曲、狂言、幸若、净琉璃、歌舞伎、儒学、和学、洋学、往来物、教训、辞书、抄物、注释、研究、历史、传记、缘起、绘卷、书目。

2. 人物:作者、歌人、俳人、歌舞伎演员、净琉璃太夫、落语家、僧侣、狂歌作者、连歌作者、历史人物、学者。

3. 文学形式:韵文、散文、说唱、艺能、演剧、集体性文学活动。

4. 术语解释:母题、文字文体、评论用语、歌语、歌枕、俳枕。

5. 基础知识:自然、环境、生活空间、制度、礼仪、天文、占卜、宗教、信仰、学术、修养、游戏、外来文化。

二、标题

1. 立项条目的标题采用了通行的读法,比如“藤原定家”就读作FUZIWARANOTEIKA,以此读音为序,另在括号内注上(SADAIE)。

2. 人名一般以姓名为标题,连歌作者、俳人用号,歌舞伎演员、净琉璃太夫等取艺名,僧侣用法号,狂歌作者等用戏号。

3. 书名或作品名一般省去副题,且采用通行的书名,如《日本国现报善恶灵异记》按通常的习惯作《日本灵异记》。

4. 条目标题注有罗马字读音:

①按照日本的习惯,“う”长音不标记,如《色叶字类抄》的读音“IRO-

HAZIRUISYO”中的“抄”(しょう)标作为“SYO”。为此,凡标做“U”的皆读作“う”,如KOUTA读作“こうた”,“小歌”。

②“い”长音用“I”标记,如《荣华物语》标记为EIGA MONOGATARI。

③为了便于发音,在有可能发生误读的音节或字组间都留有半格空隙,如“俊惠”标记为SYUN E,“春秋争”标记为“SYUNZYUNO ARASOI”。

④罗马字读音以现代假名读音为准,如“もののあはれ”的读音标记为MONONOAWARE。

三、标题的排序

1. 以现代日语假名的读音,按五十音图排序。如“もののあはれ”以“もののあわれ”为序。

2. 直音、拗音、促音之前,以清音、浊音、半浊音为序。

3. 长音按发音排列,如“往生传”以读音“おうじょうでん”为序。

四、各种记号

【】条目标题以下所立小标题。

『』日文书名。

《》中文书名。

〈〉章回标题。

「」引用的日文原文

() 注释及引用文的译文。

/ 和歌及连歌的短句。

= > 表示参考条目。

[] 该条目的撰稿者。

另,阿拉伯数字为公元年份及和歌在所示歌集中的序号,除《万叶集》外,和歌序号以《新编国歌大观》为准,《万叶集》以《新编日本古典全集》为准。

总目

凡例	1
音序索引	1
正文	1
附录一:后宫及官职制度概要	1038
附录二:中日对照文学史年表	1057
类别索引	1106

音序索引

あ

アイヌ文学	あいぬぶんがく	1
壺囊抄	あいのうしよう	1
葵	あおい	2
葵祭り	あおいまつり	3
白馬節会	あおうまのせちえ	3
青砥稿花紅彩画	あおとぞうしはなのにしきえ	3
明石	あかし	4
明石の浦	あかしのうら	5
赤染衛門	あかぞめえもん	5
暁	あかつき	6
茜	あかね	7
秋	あき	7
秋篠月清集	あきしのげっせいしゅう	8
秋の七草	あきのななくさ	10
柙	あこめ	10
麻	あさ	10
浅井了意	あさいりょうい	11
朝顔	あさがお	12
安積の沼	あさかのぬま	13
朝倉	あさくら	13
朝倉山	あさくらやま	13
浅茅	あさじ	14
浅間山	あさまやま	14
葦	あし	14

音 序 索 引

足利学校	あしかががっこう	15
足利尊氏	あしかがたかうじ	15
足利義政	あしかがよしまさ	16
足利義満	あしかがよしみつ	17
網代	あじろ	18
網代車	あじろぐるま	18
飛鳥井雅有	あすかいまさあり	19
飛鳥川	あすかがわ	19
飛鳥寺	あすかでら	20
梓	あずき	20
梓弓	あずさゆみ	21
東歌	あずまうた	21
東国	あずまのくに	21
愛宕	あたぎ	22
化野	あたしの	22
阿佛尼	あぶつに	23
安倍仲麻呂	あべのなかまろ	23
海人	あま	25
尼削	あまそぎ	25
天の香具山	あまのかぐやま	25
天の橋立	あまのはしだて	26
阿弥陀仏信仰	あみだぶつしんこう	26
雨	あめ	27
菖蒲	あやめ	27
新井白石	あらいはくせき	28
殯	あらしき	28
荒事	あらごと	28
嵐山	あらしやま	29
有明	ありあけ	29
有間皇子	ありまのみこ	30
在原業平	ありわらのなりひら	31

淡路島	あわじしま	33
行燈	あんどう	33
安然	あんねん	33

い

異界	いかい	35
五十日の祝い	いかのいわい	36
粹	いき	36
生の松原	いきのまつばら	37
生田	いくた	37
池	いけ	38
十六夜日記	いざよいにつき	38
石川郎女	いしかわのいらつめ	40
石組	いしぐみ	41
石山寺	いしやまでら	41
和泉式部	いずみしきぶ	41
和泉式部日記	いずみしきぶにつき	43
出雲大社	いずもたいしゃ	46
伊勢	いせ	46
伊勢神宮	いせじんぐう	47
伊勢信仰	いせしんこう	47
伊勢の海	いせのうみ	48
伊勢大輔	いせのたゆう	48
伊勢物語	いせものがたり	49
石上	いそのかみ	52
石上乙麻呂	いそのかみのおとまろ	52
石上宅嗣	いそのかみのやかつぐ	53
イソポノハブラス	いそぼのはぶらす	54
伊曾保物語	いそぼものがたり	55
出衣	いだしぎぬ	56
市	いち	57

音 序 索 引

一言芳談	いちごんほうだん	57
一条兼良	いちじょうかねよし	59
市原王	いちはらのおおきみ	59
井手	いで	60
糸	いと	60
伊藤仁斎	いとじんさい	60
糸毛車	いとげのくるま	61
因幡山	いなばやま	61
犬	いぬ	62
稲	いね	62
亥子餅	いのこもち	63
井原西鶴	いはらさいかく	63
今川了俊	いまがわりようしゅん	66
今様	いまよう	67
忌日	いみび	67
色好み	いろごのみ	67
色葉字類抄	いろはじるいしょう	68
石清水物語	いわしみずものがたり	69
岩代	いわしろ	70
岩橋	いわはし	71
院政	いんせい	71
因縁譚	いんねんたん	72

う

初冠	ういこうぶり	73
上田秋成	うえだあきなり	73
浮世絵	うきよえ	76
浮世草子	うきよぞうし	76
浮世床	うきよどこ	77
浮世風呂	うきよぶろ	78
簾	うぐいす	79

雨月物語	うげつものがたり	79
宇治	うじ	81
氏神	うじがみ	81
宇治川	うじがわ	81
宇治拾遺物語	うじしゅういものがたり	82
有心体	うしんたい	84
鶉	うずら	84
鶉衣	うずらころも	85
歌合	うたあわせ	86
歌垣	うたがき	88
うたた寝	うたたね	89
歌物語	うたものがたり	89
桂	うちぎ	90
宇津保物語	うつほものがたり	90
卯の花	うのはな	93
憂婆塞	うばそく	93
産養ひ	うぶやしなひ	93
海	うみ	93
梅	うめ	94
浦島太郎	うらしまたろう	95
浦島子伝	うらしまのこのでん	96
盃蘭盆	うらんぼん	98

え

栄華物語	えいがものがたり	99
絵因果経	えいんがきょう	101
江島其蹟	えじまきせき	103
江戸生艶気樺焼	えどうまれうわきのかばやき	104
絵解き	えとき	105
榎本其角	えのもときかく	106
夷	えびす	106

音 序 索 引

烏帽子	えぼうし	107
絵巻	えまき	107
艶	えん	108
延喜式	えんぎしき	109
縁語	えんご	109
円珍	えんちん	110
円仁	えんにん	110
延年	えんねん	111

お

笈の小文	おいのこぶみ	112
扇	おうぎ	114
奥義抄	おうぎしょう	114
逢坂の山(関)	おうさかのやま(せき)	115
往生伝	おうじょうでん	116
往生要集	おうじょうようしゅう	116
応仁記	おうにんき	119
近江	おうみ	120
淡海三船	おうみのみふね	121
大荒木森	おおあらかきのもり	122
大井川	おおいがわ	122
大歌	おおうた	123
大歌所	おおうたどころ	123
大歌所御歌	おおうたどころのおんうた	124
大江千里	おおえのちさと	125
大江匡衡	おおえのまさひら	126
大江匡房	おおえのまさふさ	126
大鏡	おおかがみ	127
大伯皇女	おおくのひめみこ	129
凡河内躬恒	おおしこうちのみつね	130
大津皇子	おおつのみこ	131

大伴坂上郎女	おおとものさかのうえのいらつめ……………	133
大伴坂上大嬢	おおとものさかのうえのおおいらつめ……………	134
大伴宿禰池主	おおとものすくねいけぬし……………	135
大伴旅人	おおとものたびと……………	136
大友皇子	おおとものみこ……………	137
大伴家持	おおとものやかもち……………	138
大中臣能宣	おおなかとみのよしのぶ……………	141
太安万侶	おおのやすまろ……………	142
荻生徂徠	おぎゅうそらい……………	143
奥の細道	おくのほそみち……………	145
小倉山	おぐらやま……………	149
鶯鶯	おしどり……………	149
落窪物語	おちくぼものがたり……………	149
御伽草子	おとぎぞうし……………	152
処女塚	おとめづか……………	153
小野小町	おののこまち……………	153
小野篁	おののたかむら……………	155
お齒黒	おはぐろ……………	157
尾花	おばな……………	157
帯	おび……………	157
朧月夜	おぼろづきよ……………	157
女郎花	おみなえし……………	158
乳母	おも……………	158
おもろさうし	おもろそうし……………	159
おらが春	おらがはる……………	159
折句	おりく……………	160
折たく柴の記	おりたくしばのき……………	160
女歌	おんなうた……………	161
女殺油地獄	おんなごろしあぶらのじごく……………	161
陰陽道	おんみょうどう……………	162